

手のひらの
恋人ごっこ

ADULTS ONLY
R18+
18歳未満閲覧禁止
UNOFFICIAL FAN BOOK
非公式二次創作同人誌
転載・転売禁止 DO NOT REPOST / RESELL



—あの日

あ

は

全部を、燃やそう
とした日。



どうカンチャナ？
痛くないかな



ふ



……はい、
ご主人様

は

は

お姉さまを逃がそうと、
カバスの館に
火をつけた、あの日——



—対象を発見

あー、主犯の
小間使いの
方もいます

結局、私たちは
逃げられなかった



お姉さまの脱出は
失敗に終わり

つたく手間
かけさせやがって

ガキの足で
撒けるとでも
思ったのか？

ほとんどの
娼婦や小間使いが
捕まっていた



残ったのは、
館が燃えた事実と
その責任だけ。

見せしめだ
悪く思うなよ

…つと

ええ、まだ
生かして
います

…なるほど
了解



おそらく話を
聞きつけ、飛んで
きてくれたこの人は、



私の恋人さんの中でも
まだマシな方だった

私が本当に
嫌なことはたぶん、
あまりしてこなかった



彼は火をつけた
私とヴァーニの代わりに

カバス側に
身請け金と共に多額の
賠償金を支払ってくれた

関係としては2人とも
彼に仕える事になるらしい



彼が資産を持っている
ことは知っていたが

連邦系の高官や
財団などとも
繋がりがある…とか？

詳しくは
わからない
けれど……



朝は制服に
袖を通すだけでいい



誰かの顔色を伺って
掃除をしたり

機嫌で理不尽な
要求をされたり

炊事や洗濯を
押し付けられ
たりもしない



ヴァーニは
とても楽しそうに
過ごしているし

友達もたくさん
出来たようだ



そんな彼女を
見ていると
私は以前より

ほんの少しばかり
心に暖かさを感じる

……でも、
変わらず、



私はカゴの中の鳥で。



夜になると、
いつも寝室に呼ばれ

なんで、
この服装…

夜伽の
相手をする。

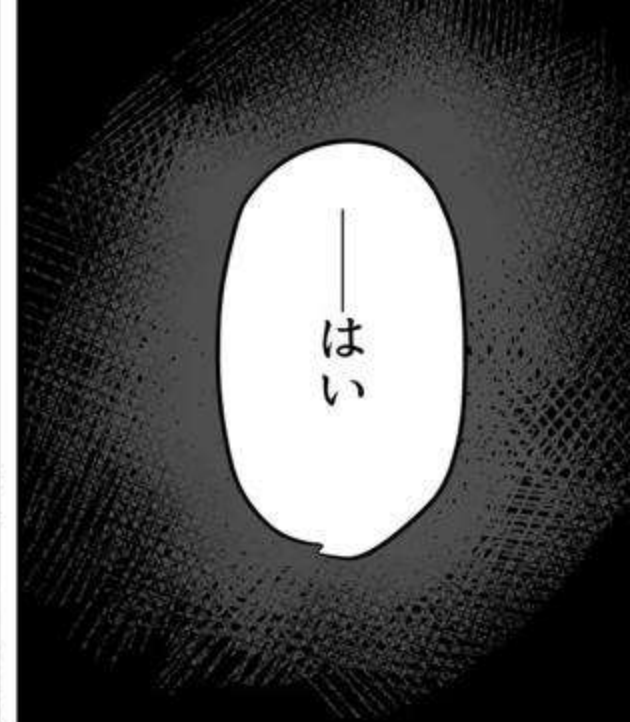


カンチャナ…

いつもの、
お願いできるかな



れ



はい



彼のお願いは
前戯から始まる

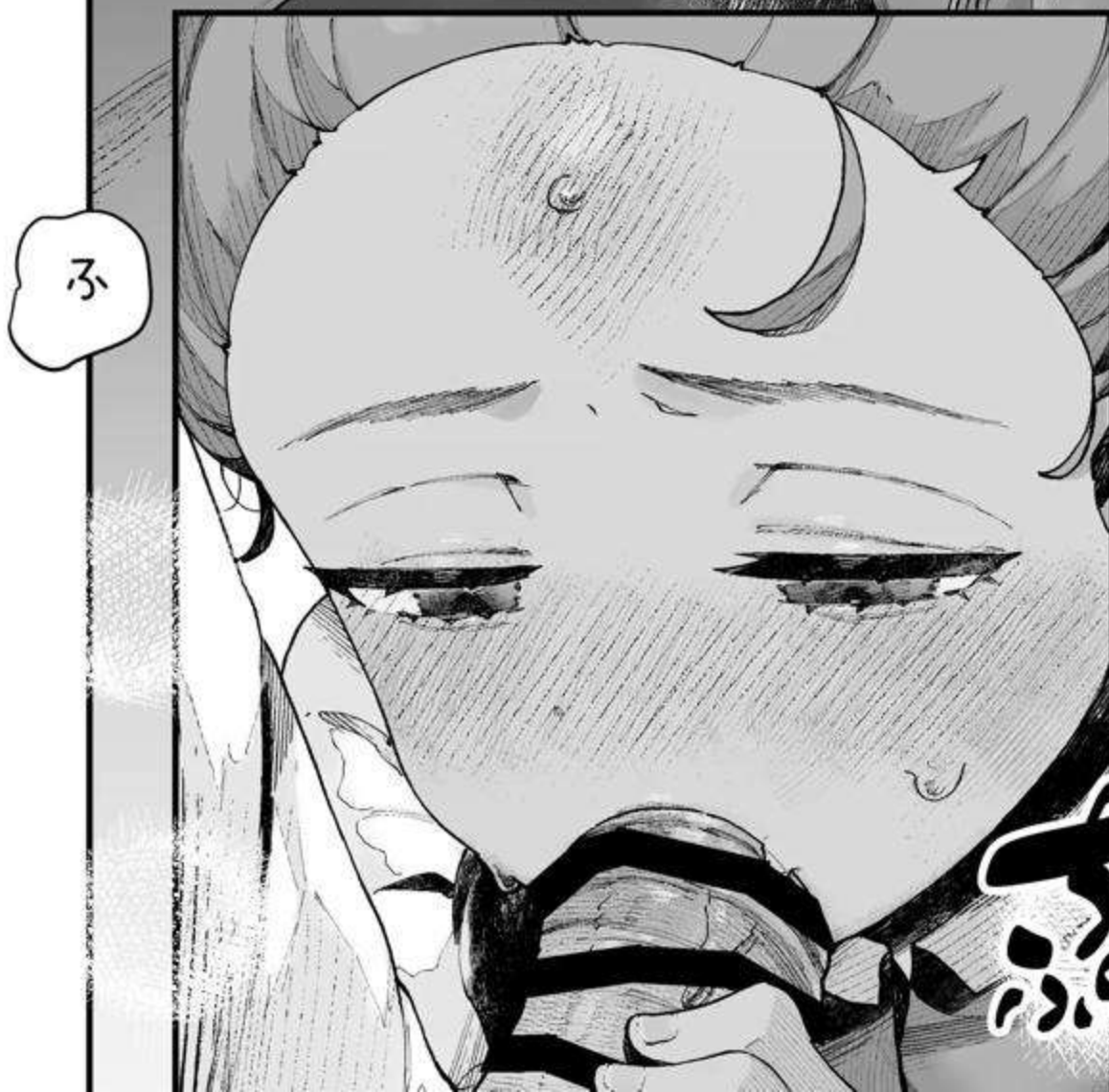
ふ

ふ

ふっ

ふ

ふ



ふ

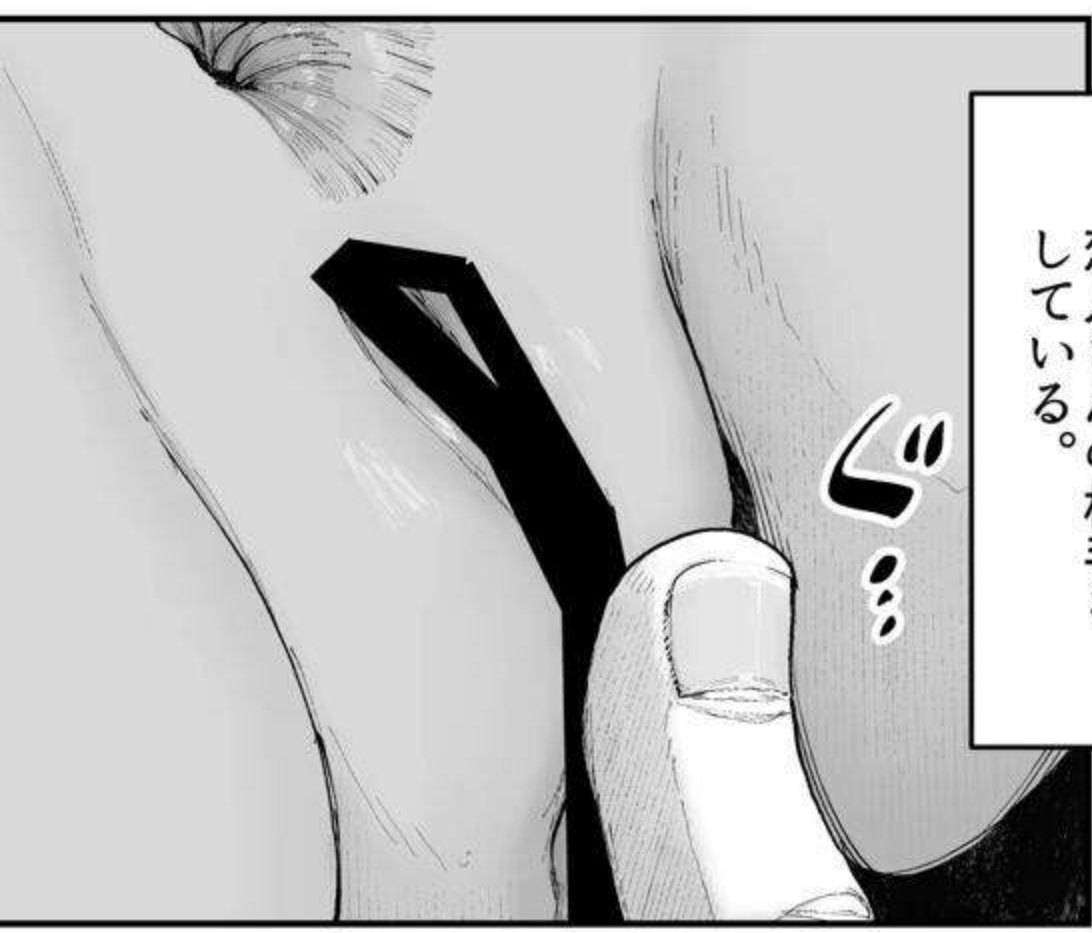


その条件のもと
私は結局――

もうきつと、
知らないままで
いいのだから



『ヴァーニには、
こういう行為を
しないで欲しい』



ここでも
恋人さんの相手
をしている。



んっ



ん







あとは――



彼は私の準備が
できるまで、
という名目で

私の性器を
執拗に弄ぶ

十分濡れて
いるでしょう…!?

ほんとうに
しつこい…っ



さつきから、
ずっと、

イツてる、
のに、

この人、
やめて、
くれない……っ

まっ
ん

まっ
ん

はあっ

っあ

あ、イク
イク、いく

この人の
思い通りに
なりたくないのに

きつと、この人は
全部わかって
やってるんだ

おめい

っご主人…
さまっ……

いくら堪えても
やめてくれなくて

ザッ

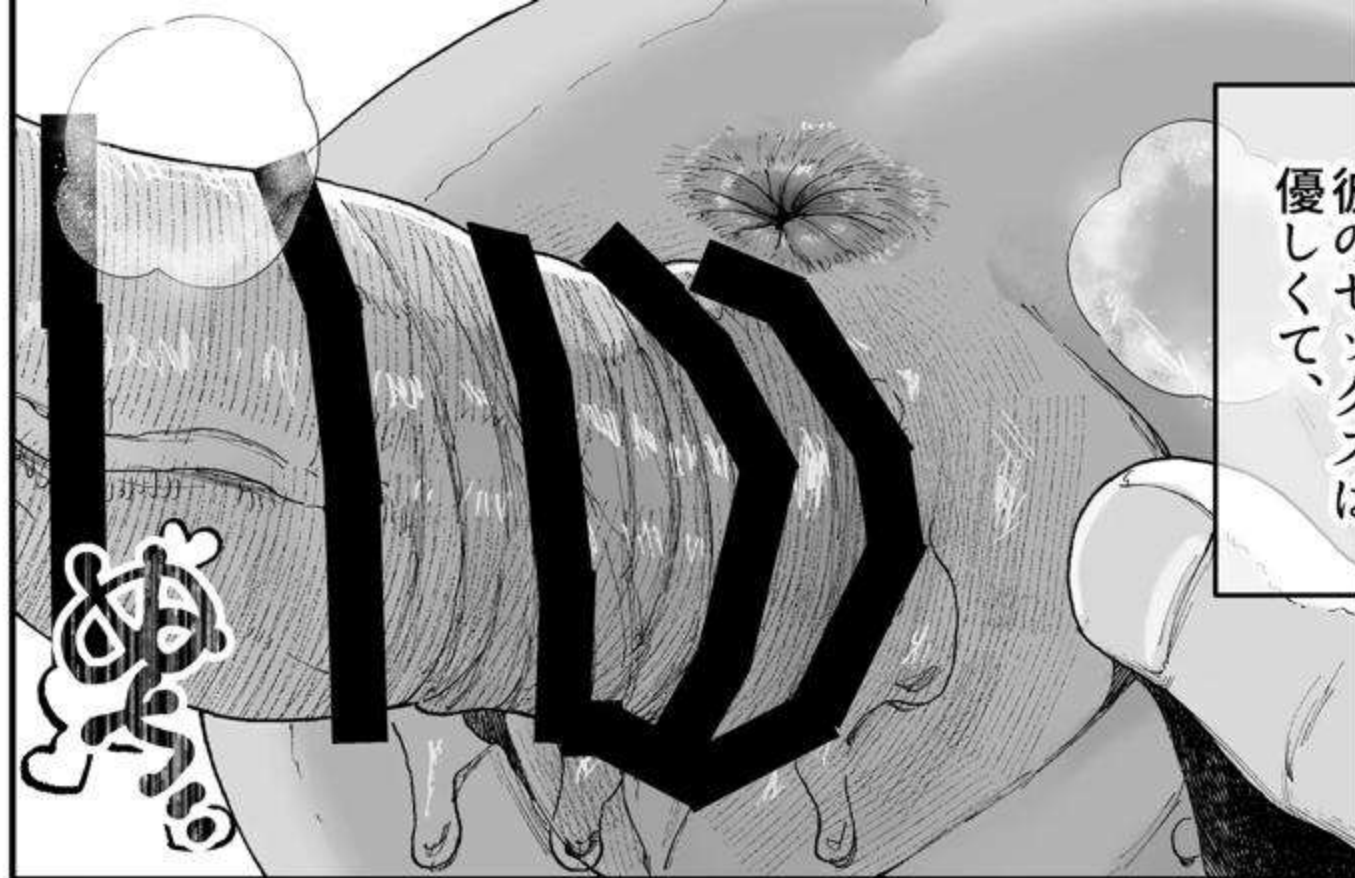
ささやかな抵抗を
嘲笑うように

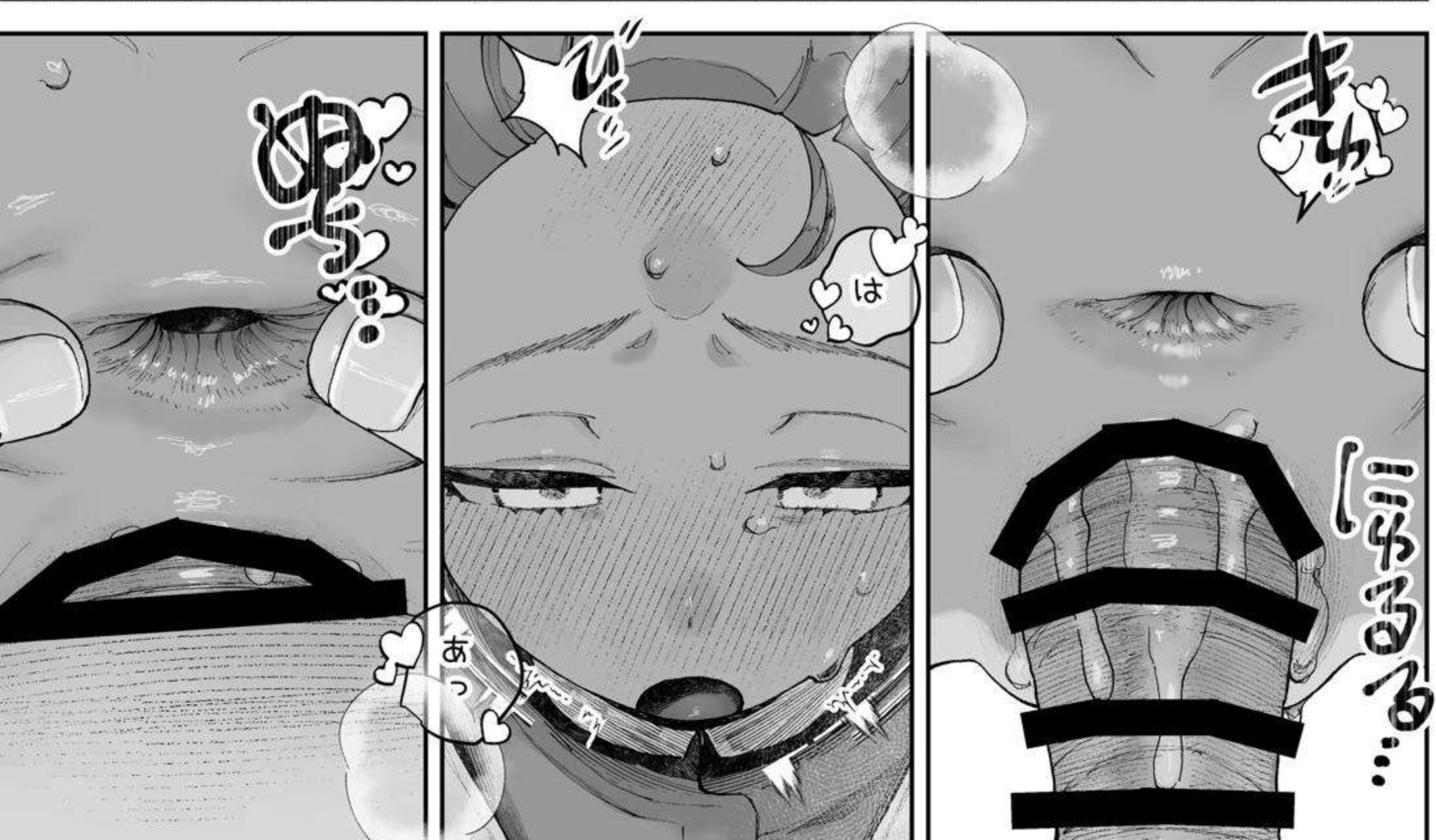
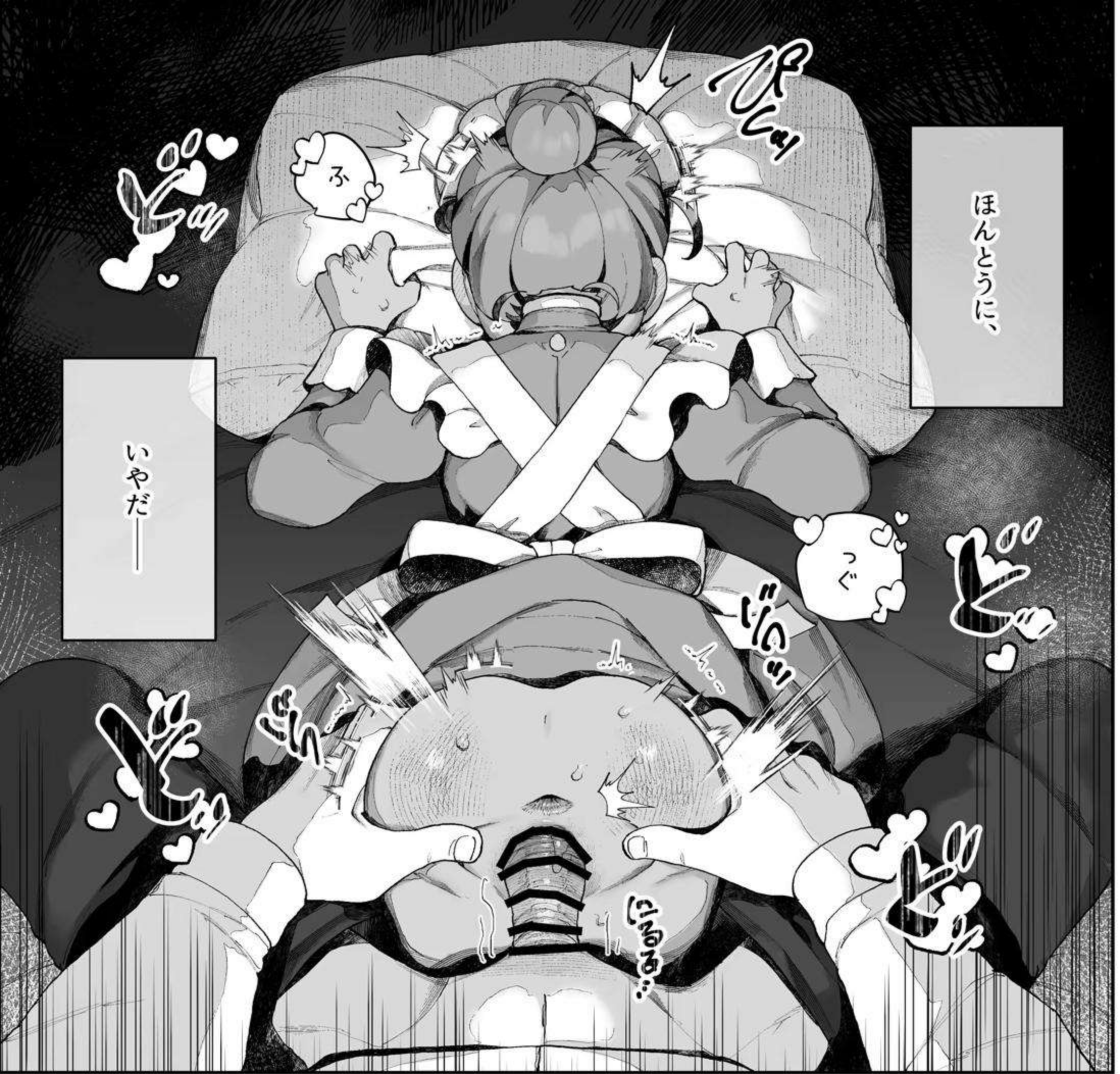
ご準備……
できましたので…

はっ

どうぞ…
お使いに
なってください…

だからこんな、
犬、みたいな





体重、あずける
みたいに

奥の方、
ぐりぐりって

ちよつと腰、
浮かして

ずっと、弱いところ
ばっかり、

突いて、くる……っっ



これが私の、

屈服の合図で――

…わかった

ごめんね、
もうちよつとだけ…

我慢して……

うん、うん

さいご、こんな
はげしく、



もう、だめ



深い、くる







私を抱きながら、
余韻に浸る。

いつもこの人は
手を握り、

行為が終わったあと



でもこれは
ただの擬似的な恋人で、

重い...

……まるで、
本物の恋人を
相手にするように。



ないのだから――

私に、
選択肢なんて、

きつと、飽きられたら
終わりのごっこ遊び。



アハハハ...アハハハ...



カンチャナ
ばつかり
ずるいぞ!!



ヴァー!?



こういうことで
いいですね?

つまり、



——わかりました





とても撓りました

2人のえっち見て
めっちゃオナニー
してたんだ!!

勢いづけて
あそこを見せ
ないでくれる?

えっ...
あんな体位まで
.....

ご主人様は
あんたが
嫌がるからって
言うし!!!

覗くしかない
あたいの気持ちに
なつてよ



あたしだって
セックスしたい!!

わかった...

わかったから
黙りなさい



私はヴァーニが
性について疎いと
思っていただけなので

2人の合意が
あれば私は
口出ししません

私もヴァーニも
あなたの
所有物です

ご主人様が
良いのなら
どうぞ勝手に



男の人って

……



褐色ハ重歯
元気っ子
やったー!!



えっ
ヴァーニとも
えっちできるの!?



だ、そうよ?
ヴァーニ
よかったね

ベッドで
横になったら?

やセツ
たい!!



ご主人様っ
はやくはやくっ!!

おはよう

ほら

おちんちんっ
あたいにもっ!!





……もう、いいかな

難しいことを
考えるのは、

今日で、おしまい。

ご主人様

どちらの穴が
良いか、
試してみます？

な……っ!?



きつとそれが私にとっての全てで、

あ

は

はっ

あ

あとは鳥かごから出された理由が欲しいだけだろう。

きつとそれが私にとっての全てで、

あ

は

はっ

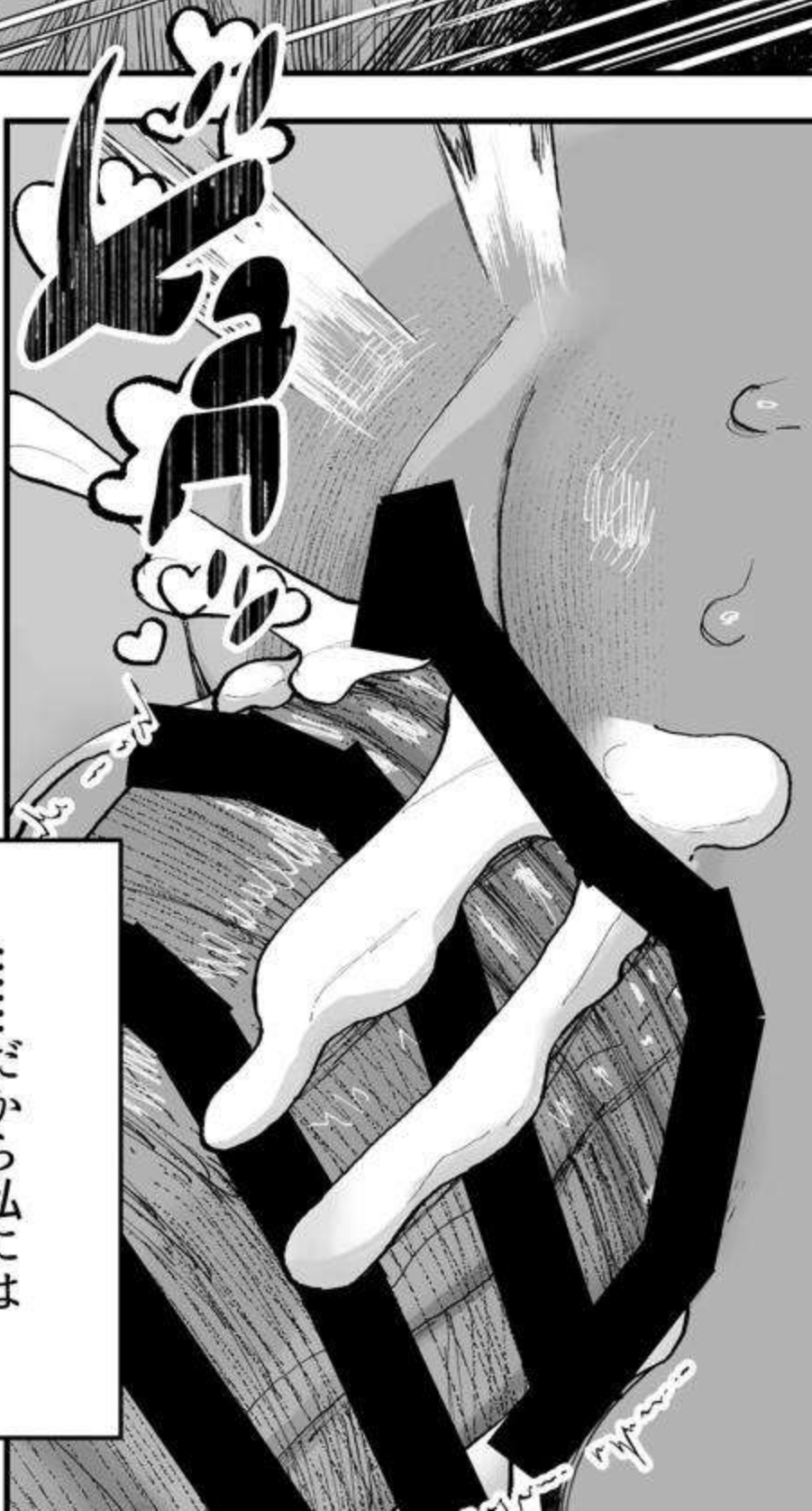
あ

あとは鳥かごから出された理由が欲しいだけだろう。





……だから私には
言葉が必要で、





気持ちいいだろ
カンチャナ



おまんこ、
あつたかくい♡



さっきの
仕返しだ



は...っ

あっ



ほらっ!!
イケっ!!

イケっ!!

偽物ではない確証が
欲しかったのだ。

差し伸べられた
手を取ることは
案外、むずかしくて

誤解も、会話も、肌も、
たくさん重ねて

は

その先にあつた
幸福は歪かもし
れないけれど

は

これが私の選択で
初めて互いに
選んでもらったもので……

だからね、きっと――

お姉さま、あなたも
選んでくれる誰かに
出会えますように――

おわり



奥付け

著者：ねこてゐ
印刷：株式会社サングループ

誌名：手のひらの恋人ごっこ
発行日：2025/08/17
連絡先： mail nekotewi@gmail.com X:12_shojo
Fantia,FANBOX,Ci-en,Subscribestar thank you supporters!